

# フィリピンの島々

フィリピンは、干潮になると顔をだし、満潮になると沈んでしまう島や、無人島も多数くあり、大小5000余の島から成り立っているそうです



宿泊先、バンブーホテルから見える日の出の風景



首都マニラがあるのは、ルソン島。隣のミンドロ島には、船（ホバークラフト）で行きました。宿泊先のバンブーホテルは、島々が眺められる海辺に面しています

ミンドロ島のある漁港から小型船で渡った宿泊先  
常住は五世帯のみの小島で、夕日が美しいところでした

セブ島へは一度マニラへ戻り、飛行機で行きました。けたたましいほど人が多くにぎやかです。日曜礼拝に参加しましたが9割はクリスチャンとのこと、教会の多いところですが、昔ながらの市場には活気があり混沌としていますが、その横ではドでかいショッピングモールの建設が進んでいました



サンゴのかけらでできた砂浜



日曜日の教会風景

フィリピンの感想を一言で、と聞かれたら「とにかく子供たちが多いのです」に尽きます。町中から少数民族の村まで、戦後の日本のような、と表現していいでしょう。二十年後が楽しみな国です。エネルギーの大消費国になるのもまじかです。できうれば、将来のエネルギー供給手段として原子力が選択されることがないことを祈ります